

ROTARY SERVING HUMANITY



第2780地区
大磯ロータリークラブ



人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度RI会長

ジョン.F.ジャーム

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 百瀬 恵美子

会長エレクト 新宅 文雄

幹事 井上 浩吉

第2391回 例会

平成28年11月17日 No.14

■司会：大藤 勉

■点鐘：百瀬 恵美子

■合唱：手に手つないで

◇プログラム・11月24日：休会 ・12月1日：事務局引越し、50周年フォーラム、理事会 12月8日：休会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2391回	14(12)	8	66.67%	—	—
2389回	14(12)	7	58.33%	—	—

◇欠席者(4名)

宮澤、原、石山、太田さん

◇メイクアップ(0名)

◇ゲスト：村井香織さん

(2009-10国際親善奨学生。秦野RC推薦)

◇おめでとうございます



誕生日祝：

田中敏治さん

(11/23)

今月23日に49才になります。これからも頑張りと、皆さんに色々教えて頂きたいと思っております。宜しくお願いします。

結婚記念日：

井上浩吉さん

(11/12)

多分50年は超えていると思います。もう空気のような存在になっています。最近は自分で料理を作ったり掃除洗

濯など派出夫の仕事もしていますが、旨い料理を作っていて楽しんでいます。お陰で体重が5Kgも増えました。(笑)立派な花を頂きました。有り難うございました。

◇出席報告

河本親秀委員

今月は財団月間で、学友の村井香織さんが卓話に来て下さっています。後ほど自己紹介をお願いします。

◇会長報告

百瀬恵美子会長

久しぶりの夜間例会、楽しく進めて参りましょう。

財団学友村井香織さんようこそ。今日は卓話宜しくお願いします。是非楽しんでいって下さい。

12月1日に事務所の引越しをします。11時に集合して荷物を積み込みます。お時間のある方はお手伝いをお願いします。



ロータリー財団月間

例会は50周年記念事業の内容について話し合います。30分時間延長になると思いますが宜しくお願いします。

田中さん49才のお誕生日お目出度うございます。

◇幹事報告

回覧:

1. 例会変更: 平塚南RC
2. 第8グループ会長幹事会よりロータリー実行委員会開催のお知らせ: 11月21日
新宅さん出席
3. ハイライトよねやま

井上浩吉幹事



◇委員会報告:

☆スマイルボックス

・百瀬恵美子さん: 久しぶりの夜間例会です。楽しく過しましょう。田中さんおめでとう。井上さんおめでとう。

・井上浩吉さん: 結婚祝いありがとうございます。

・守屋紀忠さん: 村井香織さん本日は卓話よろしくお祈りします。

・新宅文雄さん: 佐野ガバナー、麻生ガバナー補佐、公式訪問 ご指導の程よろしくお祈り致します。
・村井さん卓話よろしくお祈りします。
・井上さん結婚記念日おめでとうございます。
・田中さん誕生日おめでとうがございます。

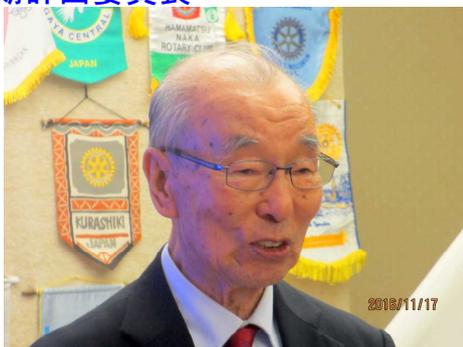
田中敏治さん



☆河本親秀長期計画委員長:

昨日新宅会長エレクトと地区のクラブ研修リーダーセミナーに参加してきました。

1. 第2ゾーンコーディネーター田中正規氏による「クラブのサポートと強化について」をパワーポイントを使ってお話がありました。内容については先週の佐野ガバナーの公式訪問で話された内容とほぼ同じですが分



かり易く具体的なお話しでした。結論としては**会員増強、維持を確実にするにはクラブのサポートと強化が必要である**と言われました。

クラブのサポートと強化:

- ・クラブの刷新生徒柔軟性を育てる
 - ・様々な奉仕活動への参加を奨励する
 - ・会員基盤の多様性を奨励する
 - ・会員の勧誘と維持を改善する
 - ・リーダーを養成する
 - ・ダイナミックな新クラブを結成する
 - ・クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する
- 上記7項目について詳しく解説がありました。大変参考になりました。

2. 当地区規程審議会代表委員・後藤定毅PDGによる「規程審議会、結果報告とその運用について」パワーポイントを使って詳しく話されました。規程審議会に於いて承認された規定の変更については私が今まで皆さんにお話ししていますが、それによってクラブはどうあるべきかについて下記のように結論を述べられました。

今までと異なり、職業分類がなくなり、誰でも入れるという考え方もあるが、資格として人格高潔、地域のリーダーである人というのは逆に厳しい資格規定かも知れない。

この大きな変更を安易に使って出席が楽だから、或いは会費が安くなるから例会数を減らすと言うことにならぬようにして欲しい。しかしこの変更を止めるものではない。この変更がクラブを活性化し、会員が増えクラブが発展するために活用するよう考えて欲しい。変更は総てクラブ細則を変更してのみ行われなければならない。

結論⇒PPTの一節:

今回の決定は「クラブが基本」に戻ったともまたクラブに責任の重さが突きつけられる事になったとも思われる。

ハードルを低くし、楽な方へ走りすぎると従来のクラブの面白さや良さが半減して、逆に会員減少を招くことになるかも知れません。一方ただ厳しすぎても、何故うちはこの不満が出てくるかも知れません。

自分のクラブのあり方や未来をじっくりと見つめて、クラブの魅力をどの様に創るか、またクラブを元気にするにはどの様にするかが、これからはよりクラブ自身に求められるのではないのでしょうか。

☆新宅 文雄50周年記念実行委員長：

大磯に木琴/マリンバの先生がおられましてその生徒さんにノーベル賞受賞の大隅栄誉教授の奥様が習いに行っておられます。午前中なら空いているので、是非見に来て下さいと言われていました。曲としては平岡精二の馴染みのあるような曲を弾かれるそうです。(50周年記念式典での演奏にどうか)皆さんに連絡しますので一緒に聴きに行きませんか。日時を連絡します。



◇ 卓話

◆◆◆R財団国際親善奨学金プログラムを通して学んだこと◆◆◆ 国際親善奨学生・村井香織さん



自己紹介：

秦野高校⇒明治大学文学部、在学中にモンゴルへバックパッカー旅行、途上国へ関心を持つ=モンゴルでは下水道など基盤設備は整っていませんが、遊牧民の方々が自然を生かした形で、彼らなりに旨く自然と循環して生活しているのを見て、先進国が進んでいるのではなく、途上国にも凄く良いところがあって、ただシステムが違うだけかなと感じ、途上国に関心を持つ切っ掛けとなりました。それと長期間海外へ行きたいと思っていたのでオーストラリア交換

留学に行きました。

卒業後一般企業を経て途上国開発にかかる研究機関(国際連合大学=途上国の人達の人材育成事業のアシスタント職)へ、そして2010年ロータリー財団国際親善奨学生としてイギリスのリーズ大学国際保健学修士コースへ=ホストクラブはリーズホワイトローズRC=専攻：国境を越えた健康問題、保健システム、保健人材をローカルとグローバル両方の視点から学ぶ。

卒業研究：イギリスで働くフィリピン人看護師に対し、母国への帰国意思についてインタビューをして定性的調査を実施。

財団留学生として過ごしたイギリスでの生活、学んできたこと：

イギリス・リーズ：ウエストヨークシャー地方人口：71万5千、産業：羊毛産業であったが中国、インドへ工場が行ってしまい、今はITとファイナンス事業に。食事は美味しくなくて少し体重を落として帰って来ました。ロンドンに留学した学生に聞くとロンドンは美味しいレストランがあるとっていました。(料理、美術館、ショッピングアーケード、公園、雪景色など美しい写真沢山)

リーズホワイトローズRC(D-1040)：新しいクラブで30代、40代の方が多く男女半々。会長、幹事も女性。毎週水曜日、朝7:45より例会、メンバー20名。各メンバーの仕事趣味、人脈を生かした各種イベントを活発に開催(自己啓発講座やワインセミナーなど)

ホストファミリーやクリスマスパーティに招待されたり、ポリオ撲滅運動ファンレイジング・パーティの写真など多数紹介。

イギリスのロータリーは伝統的なクラブでは女性が入りにくいとの事。

財団奨学生として学んだこと：

小さい頃から看護師になりたいと思っていました。途上国の問題プラス保健で感染症とかの保険システム=国民健康保険=をその国の状況に合わせて創るかと言った勉強が出来るコースに入学(10ヶ月コース)。イギリスの大学の特色なのかアフリカからの留学生=ナイジェリア、タンザニア、ザンビア、マラウイの人=がいました。アジアでは私一人でしたがタイとパキスタン、バングラデシュ、リビア、カナダの学生がいました。バックグラウンドでは既に医者の方が多く、臨床経験などを沢山話を聞きました。

日本の大学では経験できない色々な国の学生の話が聞け、ロータリーのお陰だと思いました。

WHOの本部に行く機会もあり、そこで世界の感染症対策の話やWHOに就職したい学生達にアドバイスを貰ったりしました。

コースを勉強して得たことは：

- ・国際保健学の知識、手法
- ・グローバルな科目を学ぶことで、より足下へ目が行く=身近な人、ひとりひとりが集まって世界が出来ている=ようになった。

=フィリピンの看護師さんが国内では不足なのに海外に出て働く事がグローバルの問題になっています。理由について卒論のインタビューで深く聞いて行くと、その理由はキャリア・アップのため、子供により良い教育を受けさせるため、親を養うため、好きな人のためなど個人的な理由が殆どで、グローバルな問題も個人の問題が重なって出来るんだなど実感します=一人一人のための仕事をしたいと思うようになりました。



・誰もが何か出来ることがある=ロータリアンの姿勢、銀行員、コンサルタント、牧師 =ことを認識した。

ある時、会長のミッシェルさんに何故ロータリーに入ったのか聞いたことがあります。彼女は「私はビジネスで一定の成果を納めた。それによって沢山の経験もしたし、多くの人とネットワークを持つことが出来た。これを生かして何か良いことをしたいと考えロータリーを通して還元できたらと思った」と言われた。

そして自分はどう関わりたいかを考えながら日本に帰って来ました。帰国後少し道に迷って国内製薬会社に入り翻訳。通訳の仕事をしました。一般の会社でも仕事を通じて人の役に立てるかなと考えたからでしたが、やはり自分は直接人と会って仕事をした

い考えるに至り、認定NPO法人国境なき子どもたち=国境なき医師団から派生した子供支援の団体=の支援事業オペレーション部に入職。東北（陸前高田：子供の居場所づくり事業）、パレスチナ・エルサレム県（課外授業の提供）、ミャンマー・カレン州（学校再建事業）における災害、紛争の影響を受けた子供への支援に3年8ヶ月働いていました。（写真多数）

現在神奈川県立平塚看護専門学校入学、3年後卒業、看護師として働きながら、NGOなどで再度国内外での支援事業への参加を目指しています。

以上

村井さんの将来の活動に大いに期待しております！！（編集者）

